



第008号 2020年7月4日 金川純平

下町の銭湯

私の住まいは墨田区押上、スカイツリーから直線距離で約 400m の小さなマンション。20年前に越して来たのですが、こんな物が出来る前は浅草・上野などとは比べ物にならない地味で静かな下町でした。街のあまりの変り様についていけなかったのか、いまだに銭湯が徒歩圏内に5か所もあります。家にも風呂はありますが以来15年以上ほぼ毎日銭湯通い、私の生活の重要な一部分でした。

今年の2月末ごろ、私の幼馴染から・彼が入院中だった有明にある大きな病院を退院、栃木県の自宅までの移動要請で、私の運転・レンタカーで病院から送ってやりました。それから2~3日後、急に咳・気管支痛・悪寒・体温は37度越・折しも連日のコロナ騒ぎ、これは！…家族とともにここにはもう住めない…！私のせいであの銭湯がつぶれる！…1か月後、結論はまったくコロナではなく単なる風邪だったのですが、同時にささやかな15年間の私の文化も、その日から多分今後とももう行けない・終わり、家風呂に戻りました。

吉村昭の三陸海岸大津波の如く、未曾有の出来事ではない有史以来ひたすら押し返しては引き返さざる波の如くの災害。コレラ・ペスト・結核…コロンブスのアメリカ大陸発見と同時にまたたく間に全世界に広まった梅毒などなど、未だ様々に共存。人種・国家・政治・経済…ごとに。有り難いことに平和な単一民族・島国日本、さり気なく変わるのは個人のいろんな文化？…泰山鳴動鼠一匹、大袈裟に楽天、そうありたく、願いたいものです。

金川 純平(スカイツリー・東武不動産)

2020年7月3日